

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を背景とした患者や医療者との物理的接触を伴わない臨床実習の在り方に関する検討

【研究責任者】

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 総合社会医科学講座 総合内科学分野 教授 大塚 文男

【本学における研究分担者】

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 総合社会医科学講座 総合内科学分野 講師 小比賀 美香子

岡山大学病院 総合内科・総合診療科 助教 徳増 一樹

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 総合社会医科学講座 総合内科学分野 大学院生 大塚 勇輝

（ 1 ） 研究の背景及び目的

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に伴い、医療体制や学生の安全性確保の観点から、全国各地の医学部・医科大学における患者や医療者との直接対面を伴う従来の臨床実習の実施が中止となっている。一部の医学部・医科大学ではオンラインによる非対面式の遠隔講義形式での臨床実習が継続されているが、実習そのものが全面的に中止になっている医学部・医科大学も複数存在している。

岡山大学医学部でも岡山大学内での臨床実習及び、医療者との接触を禁止し、メールやオンライン会議システムなどを用いた患者・医療者との接触のない臨床実習を行っている（申請時 2020 年 4 月時点）。通常は遠隔講義や自習課題の提供を行うことが多いが、岡山大学病院総合内科・総合診療科ではオンライン会議システムを応用し、患者や医療者と直接接触しない形で、学生による外来予診や病棟回診、カンファレンスへの参加といった診療参加型臨床実習を実現化している。こうした活動は全国的に見ても革新的な取り組みであり、その学習効果や今後の課題については探索的に調査し、学術的考察を加える意義がある。また、COVID-19 対応に医療者の人的資源を確保せねばならない中で、実習担当の指導医の負担軽減や実習の効率化についても不明な点が多い。

本研究では、岡山大学病院総合内科・総合診療科で患者や医療者との直接対面を伴わない遠隔での診療参加型臨床実習を経験した学生や指導医に対してフォーカスグループもしくは個別面接を行うことで、従来の直接対面式の実習と比較した学習効果、今後

の課題について探索的に調査を行う。

(2) 研究の科学的合理性の根拠

本研究はフォーカスグループもしくは個人面談で得られたデータを解析する質的研究であり、本研究のような探索的に知見を調べるときに使用される記述研究である。研究の主要評価項目は研究目的と合致している。研究体制及び実施期間は、研究実施と目標達成に適切である。

(3) 研究方法の概要

後述する対象者に対してフォーカスグループもしくは個別面接を行って、その結果を分析する。

(4) 研究のデザイン

質的記述研究

(5) 研究対象者の選定方針

1) 選択基準

2020年3月以降に総合内科・総合診療科で臨床実習を行った、岡山大学医学部医学科の学生と指導医のうち、患者や医療者への直接対面を伴わない参加型臨床実習を経験した者で、同意が得られた者を対象とする。臨床実習を行っている学生と指導医を対象とするため、対象者に未成年は含まれない。

2) 除外基準

研究参加への同意が得られなかったもの。有効な回答が得られなかった者。

(6) 予定する研究対象者数

10人程度

(7) 対象者数の設定根拠

データ解析に必要なかつ面接可能な人数を医学部生、指導医それぞれ5名程度ずつと考え、研究対象者数を10人程度と設定した

(8) 評価の項目及び方法

1) 主要評価項目／主要エンドポイント／主要アウトカム

直接対面のない臨床実習が従来の直接対面式の臨床実習と比してどのような学習効果があるかを具体的に探索する。

2) 副次的評価項目／副次エンドポイント／副次アウトカム

直接対面のない臨床実習においてどのような課題・問題点があるか探索する

(9) 統計解析方法

観察、面接して得られたデータのうち質的データは SCAT (Steps for Coding and Theorization) を用いて解析する。SCAT とは 4つのステップのコーディングとテーマ・構成概念を紡いでストーリーラインを記述し、そこから理論を記述する分析手法であり、これまで多くの研究で用いられている質的データの解析手法である。

(10) 観察および検査項目 (用いる情報) とその実施方法

- 医学部学生、指導医にフォーカスグループもしくは、半構造化面接を行って、従来の実習との相違点・効果的な面、実施する上で難しさを感じた点、学習内容などについてデータを収集する。
- 実習内容想起のために、臨床実習の際に記載された医学生によるカルテ上の記事を参考にすることもある
- 面接に際しては新型コロナウイルス感染症の情勢も鑑みて、適宜オンライン会議システムも使用する。

(11) 研究対象者の研究参加予定期間

研究対象者は、それぞれ面接に 1~2 時間参加する。グループ面接では発言しにくい個人的情報が含まれると判断した場合、研究参加者から希望があった場合など追加で個別に面接が必要となった際は、対象者は別日で 1 時間程度の面接に参加する。

(12) 研究実施期間

2020 年 6 月 19 日~2026 年 3 月 31 日

(13) インフォームド・コンセントの手続き方法

文書を用いて説明・同意を取得する

(14) お問い合わせ

大塚 勇輝 (岡山大学病院 総合内科・総合診療科 医師)

徳増 一樹 (岡山大学病院 総合内科・総合診療科 医師)

連絡先: 086-235-7342 (医局: 平日日中のみ)